



## プレー・アカデミー with 大坂なおみ

### 助成金申請ガイドライン—東京・大阪

プレー・アカデミー with 大坂なおみは、大坂なおみ選手、ナイキ（Nike, Inc.）とローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団のパートナーシップによってつくられたプログラムです。

プレー・アカデミーでは、生涯を通して影響が続くと証明されている遊びとスポーツを、現代社会に浸透しているジェンダー格差を埋めるのに役に立つエンパワメントツールとして活用し、女の子の生活に変革をもたらすことを目的としています。

しかし、多様なニーズに合った機会の欠如、女性コーチやロールモデルの不足、文化的な障壁は女の子が遊びとスポーツに参加する際に直面する数多くの課題のほんの一部に過ぎません。

プレー・アカデミーは、地域コミュニティ団体に助成金やキャパシティ・ビルディング、研修の機会を提供することで、これらの課題に取り組み、楽しく前向きな遊び体験とジェンダー・インクルーシブなコーチング研修を受けた指導者の増加を重視しています。プレー・アカデミーは2020年に東京で開始し、すでにロサンゼルスやハイチも対象にしており、現在は大阪にまで拡大しています。

#### ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団について

ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団は、スポーツの力を活用して、世界中の子どもや若者の暴力、差別、社会的格差をなくすことを目的としています。

#### ローレウスのミッション

- ローレウスは、恵まれない地域社会の子どもや若者の社会的および情緒的な発達と健康的な行動を促進し、それらの人々の生活における暴力、紛争、差別による影響を低減するとともに、教育の成果と雇用適性を高める「開発のためのスポーツ」プログラムを支援しています。
- ローレウスは、インパクト評価、調査、知識の共有を通じて、開発のためのスポーツをより効果的なものにします。
- ローレウスは、子どもや若者たちが直面している深刻な社会問題に焦点を当て、効果的な支援および広報活動を通してより良いリソースをこの分野に供給します。

## ナイキ (Nike, Inc.) について

ナイキは人間の可能性を解き放ち、コミュニティを形成する上でスポーツが持つ力を信じています。我々はこの信念を、Made to Play というスポーツと遊びを通して子どもたちに体を動かしてもらい、より健康的で幸福な人生を送ってもらうための取り組みを行っています。地域のパートナーおよび世界中の社員とともに、世界中の 1700 万人以上の子どもたちが遊んで、走り、明るい未来へと飛躍するための革新的なソリューションをデザインしています。子どもたちを動かし、すべての人に平等なスポーツの機会を提供するというナイキのコミットメントについて、詳しくは [communityimpact.nike.com](https://communityimpact.nike.com) をご参照ください。

## 助成金提供に関する 2 つのスキーム

この助成金は、ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団より、下記を含む当財団の目標に一致する開発のためのスポーツプログラムを実施する、または実施意欲のある選定された地域コミュニティ団体に提供されます。スポーツ活動が主体の団体である必要はありません。

- 首都圏もしくは大阪府で運営・プログラムの対象としている団体。
- 7~15 歳の女の子を申請するプログラムの主対象としていること。プレー・アカデミー with 大坂なおみはすべての女の子を支援していますが、15 歳の男の子に比べて女の子がスポーツをやめる割合が 2 倍も高いことから、この年代の女の子にフォーカスしています。
  - 障害のある女性を対象としたプログラムには、上記年齢制限が適用されません。
  - プログラム案の一部として、主対象グループのロールモデルになるための、高校生や大学生の女の子や大人（コーチなど）を対象とした活動を含むことも可能です。
  - 男の子のプログラム参加は歓迎ですが、参加者全体の 50%以上が女の子であることが必須条件です。
- 対象グループをできる限り固定し、同じ女の子に対し定期的にプログラムを提供すること。（最低 60 人以上の女の子を主対象グループとし、そのグループに対し、開発のためのスポーツプログラムの一環として、最低月 1 回の身体活動を定期提供すること）。

開発のためのスポーツ分野における異なる経験を持つ地域コミュニティ団体への応募機会を最大化するため、既存および新規団体からの申請について、プレー・アカデミーでは以下 2 つの助成スキームを設定しています。

### A. 継続助成事業の場合-MAX. 40,000 米ドル\*

以下が申請団体の必須条件です。

- 2021 年から 2022 年の間にプレー・アカデミー with 大坂なおみにすでに支援されたことがあること。

- 下記「助成金提供基準」で言及されているローレウス財団の助成金提供要件と基準に合致していること。
- 2023年1月1日から2024年12月31日までの2年間、プレー・アカデミー with 大坂なおみとそのパートナー団体と協力する意欲があること。
- パートナーシップ期間中、最大40,000米ドルの助成金を運用し定期的な開発のためのスポーツプログラム（参加者一人に対し一回きりではなく、対象グループに対し毎週、隔週、または毎月の活動）が実施可能であること\*。
- 組織発展のため新しい課題にチャレンジし、他者と協力するのに積極的であること。

\*助成金の申請が受け入れられた場合、その額はローレウス財団が承認することになります。助成金は、承認されたプログラムを運営するために人件費を含む必要なコアコストに使用可能です。

継続助成事業での2年間パートナーシップは、次の表に示すとおりです。

期間	成果物と機会
1年目 (2023年1月1日-2023年12月31日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 開発のためのスポーツプログラムの活動を定期的を実施すること。</li> <li>• 効果測定活動(M&amp;E)を実施すること。</li> <li>• 作成されたセーフガーディングポリシーを運用すること。</li> <li>• イベント、キャパシティ・ビルディング研修、報告・座談会など、プレー・アカデミーのグローバル・ネットワークに積極的に参加すること。</li> </ul>
2年目 (2024年1月1日-2024年12月31日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ローレウス財団やナイキが主催するグローバル・ローカルイベント、調査、キャンペーンなどに参加すること。</li> <li>• ローレウス財団やナイキが主催するその他のキャパシティ・ビルディングに関する機会に参加すること。</li> </ul>

## B. 新規助成事業の場合-MAX. 30,000米ドル\*

以下が申請団体の必須条件です。

- プレー・アカデミー with 大坂なおみから助成金を受け取ることが初めてであること。
- 日本で法人格を有し、イギリスからの資金提供を受ける資格があること。
- 下記「助成金提供基準」で言及されているローレウス財団の助成金提供要件と基準に合致していること。
- 2023年1月1日から2024年12月31日までの2年間、プレー・アカデミー with 大坂なおみとそのパートナーたちと協力する意欲があること。
- 開発のためのスポーツや女の子のエンパワーメントの分野での経験が浅くても、日本でジェンダー平等推進を目的とした開発のためのスポーツプログラム実施への強い意欲を持っていること。
- パートナーシップ2年目に、定期的な開発のためのスポーツプログラム（参加者一人に対し一回きりではなく、対象グループに対し毎週、隔週、または毎月の活動）が実施可能であること。

- 組織発展のため新しい課題にチャレンジし、他者と協力するのに積極的であること。

\*助成金の申請が受け入れられた場合、その額はローレウス財団が承認することになります。助成金は、承認されたプログラムを運営するために人件費を含む必要なコストに使用可能です。

新規助成事業での2年間パートナーシップは、次の表に示すとおりです。

期間	最大予算	成果物と機会
1年目 (2023年1月1日- 2023年12月31日)	10,000米 ドル	2023年第1四半期から第2四半期-事業計画のブラッシュアップとキャパシティ・ビルディング期 <ul style="list-style-type: none"> <li>● キャパシティ・ビルディングを目的とした集中研修に参加すること（例：セーフガーディング、開発のためのスポーツ、ジェンダー・インクルーシブなスポーツコーチング、モニタリング、評価と学びの活用など）</li> <li>● 開発のためのスポーツプログラムの方法論と計画をブラッシュアップすること。</li> <li>● プログラム効果測定システムをブラッシュアップすること（例：MELフレームワーク、ベースライン調査など）</li> <li>● 団体自体のセーフガーディングポリシーを作成すること。</li> <li>● コミュニティ、イベント、キャンペーンの共有などを含むプレー・アカデミーの活動に参加すること。</li> </ul>
		2023年第3四半期から第4四半期-試験期 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ブラッシュアップされたプログラム方法論に基づいた開発のためのスポーツの実験的プログラム活動を対象グループに対し3回以上提供すること。</li> <li>● 作成されたセーフガーディングポリシーを運用すること。</li> <li>● 実験的プログラム活動の影響を測定するための効果測定活動を実施すること。</li> </ul>
2年目-事業運営期 (2024年1月1日- 2024年12月31日)	20,000米 ドル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開発のためのスポーツプログラムの活動を定期的実施すること。</li> <li>● 効果測定活動（M&amp;E）を実施すること。</li> <li>● 作成されたセーフガーディングポリシーを実施すること。</li> <li>● イベント、キャパシティ・ビルディング研修、報告・座談会など、プレー・アカデミーのグローバル・ネットワークに積極的に参加すること。</li> <li>● ローレウス財団やナイキが主催するグローバル・ローカルイベント、調査、キャンペーンなどに参加すること。</li> <li>● ローレウス財団やナイキが主催するその他のキャパシティ・ビルディングに関する機会に参加すること。</li> </ul>

## 助成金提供基準

本助成事業では、ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団の助成金提供基準は下記のように設定されています。

- 1つまたは複数のコミュニティのジェンダー課題に取り組むため、スポーツをツールとして運用している団体。当財団はあらゆるタイプのスポーツを受け入れています。
- 助成スキームに一致した、地域コミュニティ対象の新規もしくは既存の非営利プログラム。プログラムを成功させるために十分な事前調査、計画、支援がなされることを重視しています。

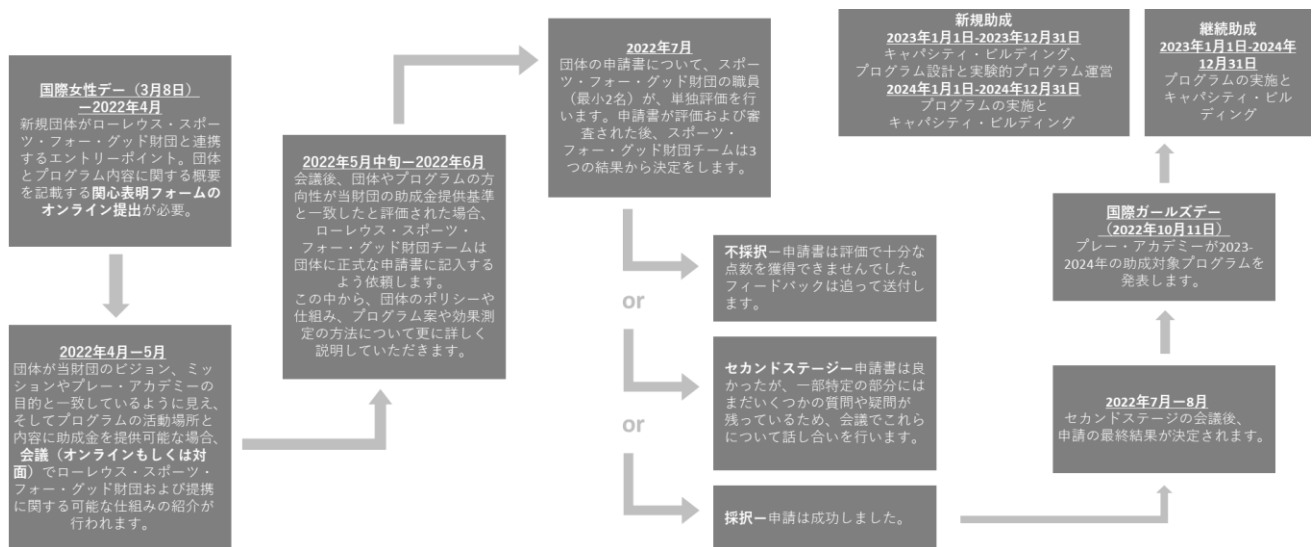
## 一方、当財団では以下の事業は支援対象としていません。

- スポーツや身体活動を含まない事業。当財団は、教育、女性の権利、雇用などの課題が、世界中様々な伝統的やより現代的な開発方法で取り組まれていることを理解していますが、これらの課題に対処するのにスポーツを用いていない団体に助成金の提供はしません。
- スポーツ参加やその向上のみを目的とする事業。当財団の目的はスポーツを通じて社会課題に取り組むことであり、スポーツをすることのみが目的となっている事業の支援はしていません。
- 競技力の向上を目的とする事業。当財団では、エリートレベルの若者を訓練しプロのアスリートになることを目指す団体・事業には助成金を提供していません。
- チームまたは個人。当財団は、試合、設備、旅費、トレーニング、またはオリンピックを含むその他の費用に関する資金獲得を目的とするスポーツチームや個人は支援していません。
- 運動会やトーナメントなどの年間と通した継続性のないスポーツイベント。当財団は、学校の運動会、対象者に対し継続的な参加の機会を提供しないトーナメントやイベントへの支援は行っていません。
- 学校や大学内のみの活動。当財団では、学校や大学に、スポーツカリキュラムの改善、設備の購入、施設改善を目的とした直接的な支援は実施していません。プログラミングの一環として学校を対象に活動する団体、もしくは地域コミュニティを活動対象とする学校と連携しています。
- 競技場、コート、教室またはその他の建物の建設費。

## デュー・デリジェンス（適性評価）

この関心表明の後に正式な申請を要請された団体には、ガバナンスや財務管理、セーフガーディング、開発のためのスポーツ、平等、多様性と包括性（D&I）、モニタリング、評価、学習（MEL）を含む様々な角度から団体の助成金を管理する能力のデュー・デリジェンス（適性評価）が行われます。デュー・デリジェンスで団体の改善すべき分野が指摘された場合、助成事業採択後、パートナーシップを通じてローレウス財団はキャパシティ・ビルディング・サポートを提供します。

## 申請スケジュール



## 申請方法

A. **新規事業**としてこの助成金に申請希望の場合、2022年 **4月25日(月)午後5時**までに**関心表明フォーム**を <https://www.tfaforms.com/446113> よりオンライン記入・提出ください。

技術的な理由により、オンラインフォームは英語で表示されますが、本ガイドライン P.7-9 を参考にしながら日本語での入力・提出を受け付けています。

なおローレウスのプレー・アカデミーウェブサイト(<https://www.laureus.com/play-academy-with-naomi>)から日本語 Word バージョンのフォームを下書き用としてダウンロードできます。

すべての関心表明が審査された後、正式な申請プロセス(選考有)へ選定された団体を2022年5月中旬頃に招待します。

プレー・アカデミー with 大坂なおみからすでに支援されている団体 (**B.継続事業**)には、当財団からは2022年5月中旬頃に正式な申請プロセス(選考有)について連絡します。

ご質問やご不明な点がございましたら、[pano@laureus.com](mailto:pano@laureus.com) までメールでお問い合わせください。

## 関心表明フォーム（日本語見本）

### 本フォームの記入方法

- ✓ このフォームは、ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団からの助成金を希望する団体が記入するものです。
- ✓ 当財団の重点分野に一致する社会課題に対しスポーツを意図的にツールとして活用する非営利の活動を支援の対象としています。
- ✓ 国際連合の「持続可能な開発目標」に基づき、ローレウスでは以下の**社会的重点分野**において子どもや若者の生活を変革するべく取り組んでいます。

1. 健康：心の健康の増進と健康的な行動変化の推奨
2. 教育：教育の質を確保し、教育を受ける機会を支援
3. 雇用機会：雇用適性の向上と雇用経路の創出
4. 女性・女の子：平等、権利、安全の拡大
5. 平和な社会：対立の解消、コミュニティでの平和構築、安全な場所の創造
6. 包摂的社会：民族、文化、身体的な違いを受け入れるコミュニティの創造

#### ローレウスのビジョン

スポーツの力で、暴力、差別、社会的格差を無くす。スポーツで世界を変えられるということを証明する。

#### ローレウスのミッション

ローレウスは、恵まれない地域社会の子どもや若者の社会的および情緒的な発達と健康的な行動を促進し、それらの人々の生活における暴力、紛争、差別による影響を低減するとともに、教育の成果と雇用適性を高める「開発のためのスポーツ」プログラムを支援しています。

ローレウスは、インパクト評価、調査、知識の共有を通じて、開発のためのスポーツをより効果的なものにします。

ローレウスは、子どもや若者たちが直面している深刻な社会問題に焦点を当て、効果的な支援および広報活動を通してより良いリソースをこの分野に供給します。

### 貴団体について（\*記入必須）

団体名*：	Click or tap here to enter text.
プログラム名*：	Click or tap here to enter text.
団体設立日*：	Click or tap here to enter text.
団体所在地住所 1 行目*：	Click or tap here to enter text.



## 関心表明フォーム（日本語見本）

団体所在地住所 2 行目 :		Click or tap here to enter text.	
市町村* :		Click or tap here to enter text.	
郵便番号 :		Click or tap here to enter text.	
国* :		Click or tap here to enter text.	
電話番号 :		Click or tap here to enter text.	
団体ウェブサイト URL (ある場合) :		Click or tap here to enter text.	
地域社会に拠点を置く団体ですか*。		Yes / No	
日本で登記済みの非営利法人ですか*。		Yes / No	
慈善団体番号 :	Click or tap here to enter text.	会社法人番号・ 法人番号 :	Click or tap here to enter text.
その他の場合、貴団体の種類をご記入ください。	Click or tap here to enter text.		
貴団体は、大規模団体の支部、または関連団体ですか? その場合、団体名をご記入ください。	Click or tap here to enter text.		
貴団体の背景やミッションについて簡単にご記入ください。	Click or tap here to enter text.		

### 連絡先

呼びかけ (Mr. Miss、Dr.など) :	Click or tap here to enter text.
名前 (名) * :	Click or tap here to enter text.
苗字 (姓) * :	Click or tap here to enter text.
役職名* :	Click or tap here to enter text.
Eメール* :	Click or tap here to enter text.
電話番号 :	Click or tap here to enter text.



## 関心表明フォーム（日本語見本）

### 貴プログラム案

貴団体が、どのようにスポーツを利用して、地域社会における暴力、差別、社会的格差に取り組んでいるかを下記の点を説明に含めながら説明ください。

1. 取り組む対象地域のニーズ概要（どの社会的重点分野に関連しているかを明記）、およびそのニーズをどのように把握したのか
2. こうしたニーズに取り組むために貴プログラムで使用する手法（カリキュラムを含む）
3. プログラム活動の規模と地理的特徴
4. 関連するこれまでの主な実績
5. 貴団体の活動が当助成事業に一致していると考え理由
6. パートナーシップが実現した場合、達成したいことや取り組みたいこと

この設問に記載した情報を裏付ける外部調査や評価などがある場合はご記入ください。記述内容は1ページ以内に収めてください。

プログラムの概要（受益者人数や属性、特徴を含む）やプログラムがどのように貴団体の理念に一致するかを含めながら記載ください。

Click or tap here to enter text.

貴プログラムが貢献する社会的重点分野を2つ選択してください。

- 1. 健康：心の健康の増進と健康的な行動変化の推奨
- 2. 教育：教育の質を確保し、教育を受ける機会を支援
- 3. 女性・女の子：平等、権利、安全の拡大
- 4. 雇用機会：雇用適性の向上と雇用経路の創出
- 5. 包摂的社会：民族、文化、身体的な違いを受け入れるコミュニティの創造
- 6. 平和な社会：対立の解消、コミュニティでの平和構築、安全な場所の創造